

# 園芸市場情報

平成27年4月号

[www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/](http://www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/)

発行：千葉県農林水産部流通販売課  
首都圏マーケティングセンター  
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1  
大田市場事務棟4F  
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

## 4月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並、相場は前年並か！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

花きは、入荷量は前年を上回り、相場は前年並か！

やっちゃば閑話 「当たり前を見直してみよう」 P8

首都圏掲示板 P9

## <今月の3枚>

### \*在京流通行政連絡会で青果物流通の研修会を開催\*

在京流通行政連絡会（東京に事務所を置く19県で構成）では、3月4日、東京銀座にある、昨年10月にオープンした長野県のアンテナショップ「銀座NAGANO」を会場として、青果物流通に関する情報交換会を開催しました。当日は、最初に「銀座NAGANO」の所長から開設の経緯と事業内容の紹介がありました。その後に行った各県が持ち寄った特産品の食味調査では、本県は高糖度トマトとゆで落花生を出品し、いずれも高い評価を得ました。



C O N T E N T S (目次)

I 青果情報

- 01 3月(中旬まで)の経過
- 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
- 04 4月の見通し
- 05 品目別生産出荷概況  
特集「春キャベツ」

II 花き情報

- 06 3月の経過(販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過)  
4月の見通し(カーネーション、バラ、トルコギキョウ)

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 2月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 「当たり前を見直してみよう」

V 首都圏掲示板

- 09 『ホワイトデーはカラーを贈る日』  
～3県合同販促キャンペーン開催～  
「甘味の増した千葉県産「べにはるか」を店頭でPR」  
「千葉県産たけのこ入荷開始！」  
「読者の皆さまへのお知らせ」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

## I 青果情報

### 1 3月（中旬）までの経過

#### 野菜類

気象	<p>3月上中旬の気象データでは、平均気温は全国的に平年を上回ったが、中国・四国・九州では平年並か平年を下回る所が多かった。</p> <p>日照時間は全国的に平年を下回った。</p> <p>降水量は全国的に平年を上回り、特に東北日本海側や北海道で平年を大幅に上回った。</p>
入荷量	<p>東京都中央卸売市場の入荷野菜は、関東産、西南暖地産が中心となった。</p> <p>入荷量は、作柄良好な「キャベツ類」等、前年を上回る品目がある一方で、前年豊作であった「だいこん」や、曇天の影響を大きく受けた「きゅうり」等は前年を下回った。</p> <p>結果、入荷量は3月上中旬で85,958t（前年比99.0%）と前年並となった。</p>
相場	<p>価格は、短い周期で変わる不安定な天候の影響を受けた、「きゅうり」「トマト」等の施設野菜を中心に品薄感が強く、前年を大幅に上回った。一方で、昨年末から豊作傾向で安値基調の「にんじん」や、入荷の多かった「キャベツ類」では前年を大幅に下回った。</p> <p>結果として、価格は3月上中旬計で255円/kg（前年比108.2%）と前年よりかなり高値となった。</p>

#### 果実類

入荷量	<p>「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回った。</p> <p>入荷量は、港湾ストの影響を受けた「かんきつ類」や曇天で生育が停滞した「いちご類」で前年を下回った一方、「りんご類」は不作だった前年を上回った。</p> <p>結果として、入荷量は3月上中旬計で、22,623t（前年比93.6%）と前年よりかなり少なかった。</p>
相場	<p>入荷量が少なく引き合いが強まった「かんきつ類」「いちご類」等で前年より高値となり、結果として、3月上中旬計で430円/kg（前年比111.3%）と前年よりかなり高値となった。</p>

# 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成27年2月下旬～3月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	2月下旬				3月上旬				3月中旬				3月上中旬計			
		開市日数		本年6日・前年6日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年15日・前年15日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	36,367	99.8	249	104.1	41,919	98.3	250	104.8	44,039	99.6	260	111.6	85,958	99.0	255	108.2
だいこん	市場計	3,675	92.2	94	122.8	4,354	99.8	87	114.3	4,650	94.9	73	112.5	9,004	97.2	80	113.6
	千葉	1,004	81.4	98	126.4	1,330	92.1	93	114.3	1,386	96.7	85	111.9	2,716	94.4	89	113.0
にんじん	市場計	1,991	100.5	88	53.5	2,224	98.5	95	62.5	2,352	92.7	112	77.5	4,576	95.5	104	70.1
	千葉	1,559	117.8	89	51.8	1,765	122.3	96	61.0	1,523	125.0	110	76.9	3,287	123.5	102	67.9
はくさい	市場計	3,217	82.6	48	78.2	3,038	79.8	59	88.1	2,872	97.3	85	124.5	5,910	87.5	72	106.1
	千葉	0	537.5	87	26.2	0	505.5	84	30.9	0	1053.3	128	192.4	0	622.9	100	43.8
キャベツ類	市場計	4,848	120.7	92	80.2	6,503	118.5	67	65.3	6,595	112.8	77	87.0	13,097	115.5	72	75.5
	千葉	932	125.7	79	71.3	1,384	115.2	65	63.0	1,681	191.1	77	80.0	3,065	147.3	71	71.4
ほうれんそう	市場計	544	143.4	467	90.0	601	113.0	385	92.2	490	90.0	529	128.0	1,091	101.4	450	108.2
	千葉	85	95.9	391	99.4	101	97.0	318	97.7	72	77.0	403	133.1	173	87.5	353	112.3
ねぎ	市場計	1,345	115.5	273	80.2	1,439	103.0	257	72.1	1,472	98.9	260	85.4	2,911	100.9	259	78.4
	千葉	540	87.6	281	79.3	687	110.0	261	70.1	680	100.5	258	80.5	1,367	105.0	260	75.1
レタス類	市場計	2,084	92.8	271	122.8	2,476	89.6	236	125.8	2,606	95.3	243	134.5	5,083	92.5	240	130.1
	千葉	128	78.6	249	111.7	110	58.8	222	126.0	139	94.9	229	139.0	249	74.6	226	131.9
きゅうり	市場計	1,429	104.0	356	86.5	1,633	98.4	478	137.0	1,876	95.1	423	127.8	3,509	96.6	449	132.3
	千葉	261	86.2	343	91.0	307	94.1	447	137.9	339	92.6	388	124.3	646	93.3	416	130.9
なす	市場計	501	124.4	444	92.4	595	106.3	470	108.9	637	90.5	492	125.3	1,231	97.5	481	117.4
	千葉	4	202.6	595	115.0	5	187.4	538	99.5	7	103.9	542	111.3	12	128.6	540	107.4
トマト	市場計	1,410	98.8	506	116.7	1,684	88.2	538	129.9	1,947	89.3	533	141.1	3,631	88.8	535	135.6
	千葉	64	114.2	477	111.5	80	92.8	510	126.0	86	83.0	513	142.1	165	87.5	512	134.3
ピーマン	市場計	382	100.7	704	103.3	474	100.6	687	110.7	504	79.4	686	121.5	978	88.4	687	116.7
	千葉	1	104.9	1,445	125.6	1	119.6	1,336	112.0	1	106.6	1,227	107.4	2	113.2	1,285	110.1
さといも	市場計	152	97.4	304	91.5	165	97.0	302	86.5	185	101.3	299	88.1	350	99.2	301	87.3
	千葉	47	86.0	271	73.6	51	82.1	277	70.8	60	97.2	282	75.9	111	89.6	280	73.3
ばれいしょ類	市場計	2,455	92.5	127	107.8	2,552	89.4	151	125.8	2,514	88.3	162	132.0	5,067	88.8	156	128.9
たまねぎ	市場計	3,203	101.8	117	81.5	3,546	105.6	125	87.1	4,135	121.8	112	76.6	7,681	113.7	118	81.4
生しいたけ	市場計	172	103.9	1,059	103.8	194	104.0	1,023	101.5	206	103.1	992	101.8	400	103.5	1,007	101.7
かぼちゃ	市場計	737	83.6	186	148.9	911	108.2	172	109.8	1,010	118.9	157	90.9	1,921	113.6	164	99.7
さやえんどう	市場計	54	89.0	1,338	151.2	63	77.9	1,159	132.4	70	83.8	1,106	131.0	133	80.9	1,131	131.6
かんしょ	市場計	845	92.2	228	127.1	1,032	100.7	233	124.0	1,032	95.5	241	123.7	2,064	98.0	237	123.8
	千葉	396	88.2	215	130.5	508	102.2	221	123.8	527	95.8	229	122.0	1,036	98.8	225	122.7
かぶ	市場計	439	110.4	145	95.7	514	108.1	137	96.7	488	101.6	144	100.9	1,002	104.8	141	98.7
	千葉	389	109.6	145	95.8	460	106.9	138	97.1	429	101.2	145	100.2	889	104.1	141	98.6
ごぼう	市場計	252	127.4	277	69.5	300	138.8	281	70.1	309	150.2	262	64.8	609	144.4	271	67.4
	千葉	2	419.0	243	45.1	1	76.7	466	105.6	1	147.2	311	65.2	2	108.2	372	81.3
こまつ菜	市場計	307	114.6	373	105.0	364	105.1	293	99.5	347	95.8	383	134.8	711	100.3	336	116.5
	千葉	16	86.5	363	103.8	19	90.0	282	91.8	17	70.7	384	150.4	36	79.9	329	117.5
こねぎ	市場計	111	98.2	899	114.2	138	94.2	833	111.9	148	93.6	774	114.1	286	93.9	803	113.0
わけぎ	市場計	6	123.3	781	95.5	7	88.3	726	106.8	8	94.0	658	96.4	15	91.2	689	101.3
糸みつば	市場計	52	105.3	497	108.7	64	95.0	497	98.7	62	88.1	378	122.6	126	91.5	438	108.6
しゅんぎく	市場計	100	122.6	494	82.9	94	93.9	407	87.6	79	98.6	496	100.4	173	96.0	448	93.7
	千葉	39	121.4	478	80.3	33	86.2	403	85.5	24	94.4	502	96.1	56	89.5	444	90.4
にら	市場計	251	103.8	664	98.7	293	99.4	588	104.9	321	107.8	541	113.9	614	103.7	563	108.9
セルリー	市場計	252	83.7	282	130.7	306	85.4	320	123.3	362	99.9	333	139.8	668	92.7	327	131.4

品目	産地	2月下旬				3月上旬				3月中旬				3月上中旬計			
		開市日数 本年6日・前年6日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年15日・前年15日			
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	96	94.4	234	110.2	97	75.2	255	138.4	79	92.9	306	116.5	176	82.2	278	129.0
ブロッコリー	市場計	758	103.9	390	124.7	768	69.4	370	157.5	672	76.7	491	166.3	1,440	72.6	427	163.0
サラダ菜	市場計	29	103.1	493	114.4	33	84.6	433	121.3	35	89.2	411	131.8	68	86.9	422	126.1
	千葉	10	107.0	484	112.2	11	79.4	422	120.6	11	70.1	428	145.7	22	74.6	425	132.4
パセリ	市場計	20	105.5	920	114.3	26	107.2	808	109.9	30	109.7	694	106.7	56	108.5	746	108.2
	千葉	8	86.0	902	128.0	11	85.9	806	121.7	11	96.5	722	111.5	21	91.0	763	116.5
チンゲンサイ	市場計	108	93.3	321	98.0	128	84.6	284	98.7	141	95.2	292	107.1	269	89.8	289	102.8
エンダイブ	市場計	6	126.1	514	91.8	6	90.2	525	115.6	7	102.5	618	135.7	13	96.2	574	126.1
ミニトマト	市場計	362	96.9	865	112.8	408	79.1	879	135.2	503	96.6	923	149.7	911	87.9	903	142.7
	千葉	26	80.1	949	117.2	31	76.4	973	133.6	40	90.9	971	142.3	70	84.0	972	137.9
とうもろこし	市場計	1	69.7	550	193.6	4	104.2	486	202.3	2	120.8	512	125.8	6	110.0	496	165.9
いんげん	市場計	91	116.6	949	118.4	88	87.7	928	114.7	78	77.4	1,145	137.8	167	82.6	1,030	125.6
そらまめ	市場計	55	106.6	802	127.6	70	59.4	760	138.7	119	65.5	731	156.9	189	63.1	742	148.9
えだまめ	市場計	1	226.1	2,369	100.5	2	280.5	2,065	100.6	2	137.4	2,070	107.6	4	188.8	2,068	104.9
やまといも	市場計	43	107.1	602	106.5	46	97.0	603	104.3	47	89.9	644	107.0	93	93.3	623	105.6
	千葉	30	112.4	607	111.7	30	97.4	604	108.4	24	78.0	631	108.4	54	87.6	616	108.1
根しょうが	市場計	82	78.8	596	107.5	103	94.0	637	110.4	110	91.8	647	109.3	213	92.8	643	109.8
マッシュルーム	市場計	33	111.9	951	108.7	40	113.5	929	109.4	46	122.3	893	103.0	86	118.1	909	106.0
外国産	—	1,305	70.2	268	133.0	1,588	80.3	266	118.2	1,761	84.7	252	114.4	3,349	82.6	259	116.2
果実総量	—	10,006	90.4	420	111.4	11,082	93.9	418	107.7	11,541	93.3	442	114.8	22,623	93.6	430	111.3
みかん類	市場計	2,384	78.8	240	94.8	1,503	84.1	230	88.0	1,074	89.6	284	97.2	2,577	86.3	253	92.3
(早生みかん)	市場計	20	101.2	227	97.3	10	68.7	196	85.0	5	76.9	196	89.7	15	71.3	196	86.4
かんきつ類	市場計	3,123	86.6	300	123.4	3,972	87.8	293	119.8	4,485	87.1	287	121.2	8,457	87.4	290	120.5
りんご類	市場計	1,969	110.3	285	97.5	2,531	131.5	288	97.8	2,389	106.9	297	101.3	4,919	118.3	293	99.5
(ふじ)	市場計	1,640	109.3	283	95.9	2,099	136.0	286	95.9	1,991	107.6	294	100.1	4,090	120.5	290	98.0
いちご類	市場計	1,233	89.9	1,356	117.6	1,426	77.5	1,280	124.6	1,709	88.1	1,232	124.0	3,135	83.0	1,254	124.2
(とちおとめ)	市場計	552	84.8	1,229	114.8	691	96.9	1,145	119.2	793	101.4	1,093	116.6	1,485	99.2	1,117	117.8
(あまおう)	市場計	228	83.2	1,640	123.5	215	53.0	1,624	139.6	291	68.8	1,568	139.1	507	61.1	1,591	139.0
メロン類	市場計	97	106.2	1,028	92.3	129	85.5	1,014	113.7	158	93.1	889	107.9	287	89.5	945	110.4
	千葉	4	101.4	1,115	81.7	4	93.7	1,284	110.8	6	93.2	1,045	100.1	10	93.4	1,147	105.0
(アールスメロン)	市場計	49	97.4	1,357	87.8	68	91.3	1,376	106.2	78	92.0	1,259	107.8	146	91.7	1,313	107.0
	千葉	4	101.4	1,115	81.7	4	93.7	1,284	110.8	6	93.2	1,045	100.1	10	93.4	1,147	105.0
外国産	—	1,061	97.8	228	113.9	1,388	95.2	229	118.4	1,486	91.0	233	116.5	2,874	93.0	231	117.4

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。  
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上  
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

## 2 4月の見通し

### 野菜

春物野菜の最盛期となり、関東が中心産地となります。

入荷量は、昨年多かった「だいこん」では前年を下回りますが、「キャベツ類」は順調で、昨年の雪害による施設倒壊から回復しつつある「ほうれんそう」は前年を上回ります。全体では平年を上回り、前年並となる見込みです。

価格は、天候不順の影響を大きく受け、品薄感の払しょくできない「きゅうり」を除き、ほとんどの品目で平年を下回る見込みで、全体で平年を下回り、安かった前年並となる見込みです。

### 果実

「かんきつ類」「いちご類」「すいか類」が中心に出回ります。

入荷量は、天候不順による開花不良の影響を受けた「びわ」は少なかった前年を下回り、果実全体では前年を下回る見込みです。

価格は、比較的荷動きの良い品目が多く、全体では前年を上回る見込みです。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↘	↗	↗↗	↘	千葉県では、降雨により一部で播種が遅れていたが、生育は順調で影響は少ない。目立った病害虫の被害はない。
キャベツ類	↗↗	↗↗	↗↗	↘↘	千葉県では、生育は順調。病害虫の発生は少ない。主産地の神奈川県でも生育は順調。
ほうれんそう	↗↗	↗↗	⇒	⇒	千葉県では、生育は順調。目立った病害虫の被害はない。昨年雪害で施設被害の多かった群馬県でも生育は順調。
ねぎ	⇒	⇒	↘	↘↘	千葉県では、一部で生育が遅れていたが、回復してきている。埼玉県では昨年の雪害から回復し、入荷増の見込み。
きゅうり	⇒	⇒	↘	↗	千葉県では、生育は概ね良好。主産地の埼玉県、群馬県でも生育は良好。
トマト	⇒	↗↗	⇒	↘↘	千葉県では、一部でやや小玉となっているが、生育は概ね順調。病害虫は少ない。
びわ	↘↘	↓↓	⇒	↗↗	千葉県では、開花が早く概ね生育順調なため前倒しで入荷する。大半を占める長崎県は開花の乱れが影響し少ない見込み。

増加

減少

凡例	
⇒	平年並: ±2%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%
↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

### 3 品目別生産出荷概況

#### 春キャベツ

主要産地のキャベツ類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	26年4月入荷量	26年4月シェア率
神奈川	8,979 t	50.6 %
愛知	7,238 t	40.8 %
千葉	2,311 t	13.0 %
茨城	296 t	1.7 %

4月入荷予測	20,500t(前年比106.7%、平年比114.7%)
4月価格予測	100円(前年比106.6%、平年比87.3%)
4月市況予測	上旬：⇨(保合) 中旬：⇨(強保合) 下旬：⇨(強保合)

#### 今後の競合産地の動向は?

4月から6月に入荷するキャベツは春キャベツに区分され、主な産地は愛知、神奈川、千葉、茨城です。

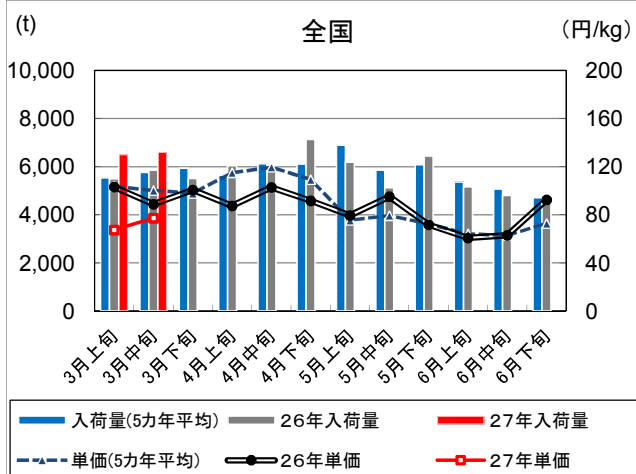
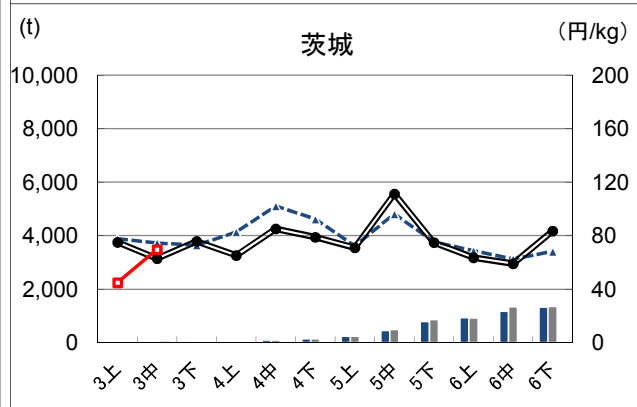
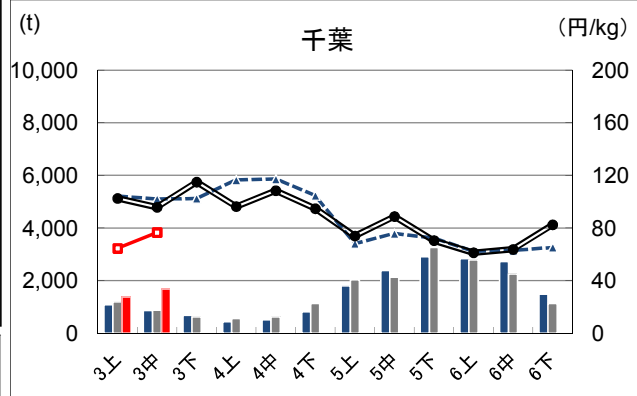
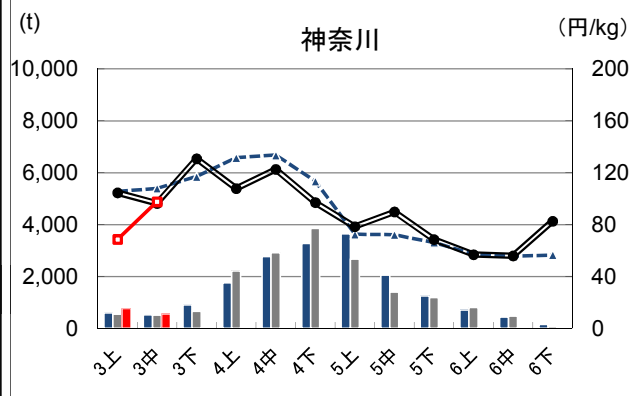
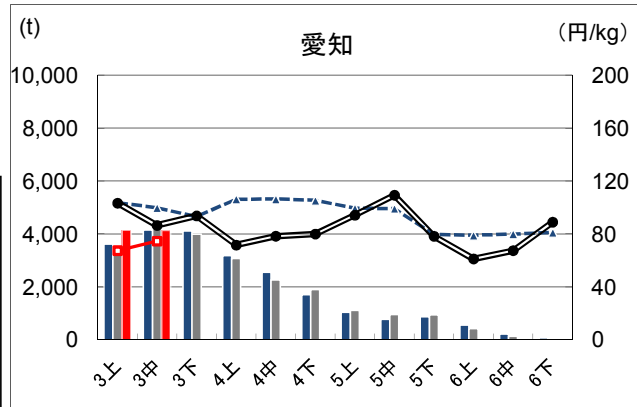
冬キャベツの主産地である愛知は4月中旬以降減少し、主産地は神奈川に移ります。前年は神奈川県の出荷が前倒しとなり4月の入荷量が平年を上回りました。その後、千葉の出荷が5月から本格化し、5月下旬から6月上旬にピークを迎え、茨城は6月にピークとなります。

愛知は3月で春系が終了し、寒玉系中心となります。定植後の台風による根傷みの影響で小玉傾向となりますが、入荷量は前年並となる見込みです。

神奈川は生育順調で4月中旬からピークに入り、多かった前年をさらに上回る入荷となる見込みです。

千葉は生育順調で、前年並の出荷を見込んでいます。

全体での入荷量は前年を上回り、価格は前年を上回るものの平年を下回る見込みです。



## II 花き情報

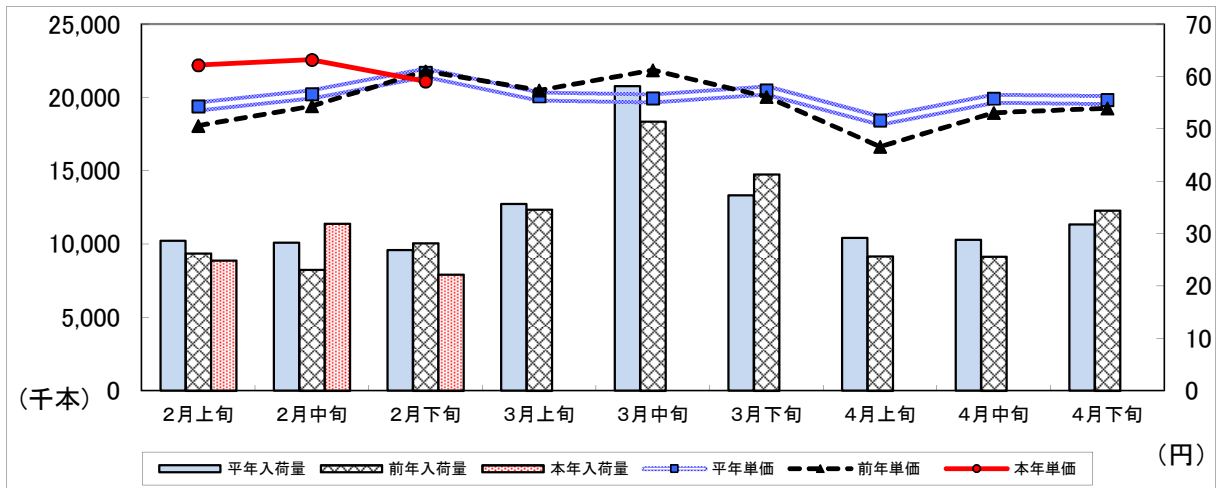
### 1 3月の経過（切花）

曇天が続いたことや冷え込みの影響により入荷量が少ない中、年度末の送別需要や葬儀を中心とした業務需要に向けた取引が好調で、相場は堅調に推移した。

#### （1）販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	入荷量は、曇天が続いたことや冷え込みによる開花遅れの影響から平年を下回った。
相場	ぐずついた天候が続いたため小売店での荷動きは悪かったが、年度末の送別需要や葬儀を中心とした業務需要からの引き合いが強く、相場は堅調に推移した。
品目等	菊類は入荷数量が少ない中、彼岸需要に加え葬儀需要からの引き合いも強く、価格は堅調に推移した。

#### （2）入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成  
平年値は過去3カ年の平均

#### （3）品目別経過

品目	経過	
スプレー菊	大田花き	国産は冷え込みの影響で開花が遅れ、輸入も昨年より少なかったことから入荷量がまとまらず、堅調な相場展開となった。
	F A J	国産、輸入ともに量が少なくひっ迫した状態が続いた。相場は昨年より2割程度高めで推移した。
バラ	大田花き	ホワイトデー需要、送別需要からの引き合いが好調で、上位等級の明るい色目のSPを中心に堅調な取引となった。
	世田谷花き	低温の影響により入荷量は少なめであった。

### 2 4月の見通し

品目	見通し	
カーネーション	フラワーポート	生育が遅れていた分が出荷されてくるため入荷量は多く、厳しい販売が予想される。
バラ	フラワーポート	暖地、高冷地ともに季咲が始まり入荷量が多い。上旬は引き合いが見込めるが中旬以降は販売に苦慮しそう。
トルコギキョウ	大田花き	静岡、熊本、福岡、高知を中心に出荷量が増加する。大きな需要は無いものの、安定した相場での販売が見込まれる。



### Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

#### 1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	H27.2月				累計 (H26.4~H27.2月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	22,265	182	99	96	275,207	176
だいこん	2,747	86	99	97	34,825	75
にんじん	1,628	81	139	53	19,030	103
はくさい	2,621	52	112	74	22,849	56
キャベツ	3,740	87	92	82	48,068	81
ねぎ	977	225	107	72	10,685	238
トマト	594	501	86	118	14,215	320
きゅうり	684	395	92	107	11,627	301
ばれいしょ	1,557	107	92	103	16,309	108
たまねぎ	1,621	105	102	71	197,777	108
レタス	804	256	87	123	13,153	183
果実	5,680	338	96	108	70,139	291
みかん	1,783	209	93	103	15,640	191
かき類	22	348	66	104	4,189	226
グレープフルーツ	85	226	96	115	2,081	165
なし類	3	249	19	102	5,825	277
ぶどう類	8	596	71	140	2,065	643
いちご類	499	1,329	74	132	2,484	1,173
すいか類	3	265	217	60	7,199	158
メロン類	30	666	65	170	3,476	369
バナナ	372	179	97	109	5,421	164
りんご	998	263	131	94	7,813	273
その他	262	187	93	105	2,983	196
青果物合計	28,207	214	98	100	348,329	199

#### 2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	H27.2月				累計 (H26.4~H27.2月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	2,157	61	99	129	30,301	54
きく	681	68	97	133	10,581	58
バラ	92	73	118	104	1,172	66
カーネーション	217	49	120	113	3,667	45
枝物	90	105	105	108	1,274	88
鉢物	71	124	101	104	1,372	118
その他	2	109	100	115	45	155
花き合計	2,320	64	99	125	32,992	58

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。  
 ※「-」は、数値の発表がないことを示す。

# や っ ら っ ば 閑 話

## － 当たり前を見直してみよう －

市場に赴任して早2年。振り返ってみれば沢山の販促活動をしてきました。

量販店の店頭での試食宣伝、市場内の買参人向けの試食展示会など実施方法も様々でした。販促資材も、一昔前はせいぜい説明のポップ程度であったのが、種類も数もずいぶんが増え、それらを前面に飾りつけたフェアはまるでお祭りのようです。

最近では、量販店や市場での販促活動が日々行われるなど、千葉県に限らず色々な産地の開催する販促活動はごくごく「当たり前」になってきています。

実は、この「当たり前」が曲者です。

- ・各県の産地とも販促活動をするのが「当たり前」
- ・販促活動では販促資材を沢山用意するのが「当たり前」

こうやって「当たり前」が積み重なり、個性のない、ルーチン化した販促活動をいくつも見かけます。



<販促資材で綺麗に飾り付けられたフェア会場>

ある卸売会社のセリ人さんに話を聞いてみると、

「最初はコンセプトを持って行った販促かもしれないが、繰り返し行っていく過程でコンセプトが失われてパターン化していき、何をPRしたいかわからない。他産地の良い事例をそのままマネするので、似たような販促も多い。」

「販促資材を見てみても、似たようなパターンばかりで、PRポイントのわからない、全く記憶に残らないものも多い。」

とのこと。

販促活動を行うのが「当たり前」になることで「何を伝えたいのか？何をPRしたいのか？」という観点が失われがちです。フェア等が珍しく、やるだけでも意味のあった昔と違い、今は世の中に販促活動があふれ、見る側にとってもそれを行うことが当たり前になりつつあります。だからこそ、自分たちの活動の意義や、資材のあり方を改めて見直し、PR効果を最大限にあげるための努力が今必要とされているのではないのでしょうか。

(へたれボルダラー)

# V 首都圏掲示板



「ホワイトデーはカラーを贈る日」

～3県合同販促キャンペーン開催～

純白の花・カラーの需要拡大を図るため、「ホワイトデーはカラーを贈る日」を合い言葉に、主要生産県である千葉・愛知・熊本の生産者・関係団体が市場や小売店で様々な販売促進活動を展開しました。



2月27日の東京都中央卸売市場世田谷市場での活動の様子です。各県の代表者によるセリ前のPRやアレンジ展示により、買参人にカラーの利用拡大を呼びかけました。本年はこのほかに大田市場・北足立市場・板橋市場でも同様の活動を展開しました。



3月7日から14日まで、都内の専門小売店（リベルテ）14店舗で、君津のカラーフェアが行われました。

各店頭には純白のカラーがきれいに並べられ、多くの方が足を止めて見入っていました。

また、3月7日には2店舗で生産者が店頭立ち、カラーの魅力や想いを訪れたお客さんに伝えていました。

近年花き業界では、需要拡大のために産地や関係者が連携して活動する事例が増えていきます。

今年6回目となるこの活動ですが、市場でも「少しずつ認知度が広がっている」と評価する声が聞かれており、今後の発展が期待されます。



## 甘味の増した千葉県産「べにはるか」を店頭でPR

さつまいもは、収穫後に一定の環境で貯蔵することで甘味が増し、食感がなめらかになっていきます。「べにはるか」は特に「しっとりして、甘味が強い」ことが特徴の品種で、十分に貯蔵して特徴を引き出した千葉県産「べにはるか」をPRするため、3月4日（水）に店頭での試食宣伝を実施しました。

2種類の試食を提供し、「焼き芋」は「すごく甘い！」「なめらかな食感がいい」と好評で、もう一品の「炊飯器でできる大学芋」は「簡単なのに美味しい」「調理時間を有効に使える」「油を使わないのでヘルシー」とレシピを受取るお客様が多く見られました。

店舗の担当者からは、「焼き芋は『べにはるか』主体で売っている。」との話があり、お客さんからは「テレビで『べにはるか』について特集していた」という声もあり、「べにはるか」のファンは今後も増えそうです。



上：ヨークマート  
辻堂太平台店の様子  
左：ヨークマート  
港南中央店の様子



## 千葉県産たけのこ入荷開始！

3月30日（月）千葉県産たけのこが東京都中央卸売市場大田市場に初入荷し、買参人の念入りな目利きが行われた後、競売が始まりました。

昨年の初入荷よりも量が少ないとのことで、高値での取引（昨年3,000円／5kg：本年3,500円／5kg）となり、千葉県産たけのこへの期待の高さが伺えました。





## 読者の皆さまへのお知らせ

26年度の市場取引を振り返ると、4～6月は好天で入荷が安定し、価格は平年並みに推移しました。7月は涼しい日が続き、夏果実の消費が伸び悩み、8～9月は曇雨天の影響で主要野菜が品薄高になりました。10月以降は好天で秋冬産の出回りが良好で、多くの品目で前年比安の展開となりました。

特徴的な動きでは、さつまいもが、しっとり甘い「べにはるか」等の新たな品種の出回りから、焼き芋ブームとなり、コンビニ等の扱いが増え、好調に推移しました。

さて、首都圏マーケティングセンターでは、4月1日の定期人事異動により、下記のとおり新たなスタッフでの体制となりました。

本県産農産物の有利販売に向け、流通情報の収集・分析と発信、販売現場と産地とのマッチング、千葉県産農産物の首都圏におけるセールスプロモーションの展開、量販店等大口需要に対応したオール千葉での販売体制づくり等に、引き続き取り組んで参ります。

本年度も、皆様の御期待に添えるよう日々努力を進めてまいりますので、よろしくお願ひします。

### 記

平成27年度

農林水産部流通販売課首都圏マーケティングセンター職員

職	氏名	連絡先
室長	小柳 享	〒143-0001 東京都中央区東海3-2-1 大田市場事務棟4階 電話：03-5492-5416 FAX：03-5492-5407
副主幹	伊藤 文雄	
副主査	大屋敷 亮輔	
技師	河合 孝紀	